

# 高等学校・第1学年・芸術科(美術) 感じ取ったことや考えたことを基にした表現①

美術作品などを鑑賞する

心豊かな発想をする

制作の構想を練る

創造的に表す

相互に鑑賞する

振り返り, まとめ

## 題材の目標

造形の要素の働き, 全体のイメージや作風などで捉えることを理解し, 自己を見つめ感じ取ったことや考えたこと, 夢や想像などから主題を生成し, 表現形式の特性を生かし, 形体や色彩, 構成などについて考え創造的な表現の構成を練り, 主題を追求して創造的に表し, 美術作品などについての見方や感じ方を深めることができるようにするとともに, 主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。

## ICT活用のポイント

本事例では, 主題を生成した後に, 構成を練る活動において, ICT端末を使い自画像用の画像を数種類撮影し, プレゼンテーションソフトで画像を構成する。日本画の作品完成後に作品をICT端末で撮影し, クラウド上に上げ相互に鑑賞しコメントを記入する。最後に, 学習支援ソフトを使いワークシートの記入や共有, 振り返りにも活用する。

## 事例の概要

本事例では, 自己を見つめ夢や将来への希望, 今の気持ちなどを基にして発想や構想をし, 日本画の表現技法を用いて創造的に表して自画像を制作する。発想や構想をする場面では, 表情や角度などを考えてICT端末で自画像用に画像を撮影し, コンピュータのプレゼンテーションソフトを活用して, 撮影した画像やその他の画像をコラージュするなどして主題に応じた表現になるよう構成する。作品完成後には, 作品を撮影し, クラウドに上げた作品を相互に鑑賞し, 作者の心情や表現のよさや工夫などを文章で記入する。また, 学習支援ソフトなどを使って, 本題材を通して学習したことの振り返りやまとめをさせている。

# 高等学校・第1学年・芸術科(美術) 感じ取ったことや考えたことを基にした表現②

～ICT端末の機能を活用して構想を練ったり、見方や感じ方を深めたりする～

## I.【ICT端末を使って様々な写真を撮る】



## II.【プレゼンテーションソフトで構想を練る】



## III.【完成作品を撮影し、コメントを記入する】



### 【ICT活用のメリットを生み出すための工夫】

- I. 主題を基に、いろいろな視点や撮影する方法、表情などを考えICT端末のカメラ機能を活用し複数の写真を撮るようにさせる。
- II. プレゼンテーションソフトで画像を加工したり、複製したり、背景を組み合わせたりしながら、画面上で構想を深めることができるようにする。
- III. 日本画の作品完成後に、作品をICT端末で撮影し、クラウド上に上げお互いの作品を鑑賞し、作者の心情や表現のよさを記入する。学習支援ソフトを活用し、学習活動の振り返りも記入し、学習の成果などを共有できるようにする。

### 【ICT活用のメリット】

- 生徒が表したいものに合うように、視点や表情を変えた自分の顔写真を数枚撮影する。自分で撮影するだけでなく、友人に撮影してもらいながら、撮影の度に画面を確認したり複数撮影したりすることができる。
- 撮影した画像を取り込み、主題を追求して表現の構想を練る際には、画像のトリミングや複製、着色や加工、コラージュなどをするだけでなく、構図の修正などを何度もやり直すことができる。
- 完成した日本画作品を撮影し、クラウド上に保存されたお互いの作品を鑑賞し合い、作品から感じた、作者の心情や表現の工夫を学習支援ソフトを活用して記入することで、感じ取ったことや考えたことを共有することができ、振り返りもできる。

### 【活用したソフトや機能】

カメラ機能、プレゼンテーションソフト、アンケート機能、ファイル共有機能、学習支援ソフト